

# 3・11をめぐる 芸術的営為と 感性

## スケジュール

- 14:00-14:05 開会あいさつ、出席者紹介 益田勇一 (白鷗大学)
- 14:05-14:20 企画趣旨 椎原伸博 (実践女子大学)
- 14:20-15:35 松崎俊之 (石巻専修大学)  
「3.11をめぐる断想、あるいは感性論の限界について」
- 15:35-15:50 石田圭子 (東京芸術大学)  
「被災地の光景と感性の問題—レヴィナスの可傷性から考える—」
- 15:50-16:05 鈴木賢子 (東京芸術大学)  
「瓦礫の風景・土地の記憶」
- 16:05-16:20 村上タカシ (宮城教育大学)  
「3.11以降のアクティビティとクリエイティビティ」
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-17:00 討論：進行役 椎原伸博
- 18:00- 懇親会 (会場：東京芸術大学)

## 報告者

松崎俊之 (石巻専修大学・教授)

「直感的判断の位相—カントの判断論を中心に」(『美学』35/1)、「美と崇高の感情に関する観察」におけるカントの崇高の観念について(『美術史学』10)、「美と崇高の感情に関する観察」におけるカントの感情理論について(『思索』21)、「カント」美と崇高の感情に関する観察」における美と道徳性問題(『美学』39/4)、「ワイトゲンシュタインと美学の(不)可能性」(『美学』55/2)、「美的センスの私秘的次元」(『芸術文化』11)、「青を見る—美的知覚の問題」(『芸術文化』13)、「美的特性に関する階層構造理論」(『芸術文化』15)

村上タカシ (美術家 MNIX Lab代表、宮城教育大学 准教授)

1986年より豊やお米を使ったインスタレーション作品など美術家として東京で活動を開始。国内外の展覧会やアートプロジェクトに参加。これまでの作品としては、「GreenCircle」「アート・センテ」構想」「FANABATA 列車」など。また東京杉並区にて1994・1996年のIZUMIWARU project「学校美術館構想」展や2003年より仙台で「ORG」観光アート展や「アート・インクルージョン」など数々の学校やまちを使ったアートプロジェクトを企画実施。3・11以降は3・11メモリアルプロジェクト(このプロジェクト)や校3・11(しめすプロジェクト)などを展開中。http://mnix.org

鈴木賢子 (東京芸術大学・非常勤講師)

カント美学、イギリス近代文化論、記憶表象論、W.G.ゼーバルト研究「W.G.ゼーバルトにおける語りの場」(『日本ドイツ学会「ドイツ研究」第45号、2011年)、「W.G.ゼーバルトにおける博物館/自然史」「グリッド」と「五点形」を通して(『実践女子大学美術史学』第25号、2011年)、「W.G.ゼーバルトの記憶の技法」(『実践女子大学美術史学』第24号、2010年)、「カント」「美と崇高の感情にかんする観察」における覚書」の道徳的感情について(『東京芸術大学美術学部紀要』第44号、2006年)

石田圭子 (東京芸術大学・非常勤講師)

「形姿(テシユタルト)と(芸術)政治共同体」(仲正昌樹編『批評理論と社会理論1.アイステーシス』叢書アレタイア13巻、御茶ノ水書房)、「芸術と倫理のあいだ—レヴィナスの芸術論—」(『美学』第55巻第1号)、「「Etiヒュームの芸術論と原(フロト)フアシズムイデオロギー」(宛先)第59巻第2号)、「芸術による批判は可能か—アドルノの文化批判論をめぐって—」(『東京芸術大学論叢』第2号)、「美学から政治へ—ゴットフリート・ベンとアルフレート・ホイムラー—」(『東京芸術大学論叢』第6号)、「傷(トラウマ)としての絵画—アーンゼルム・キーファーとナチスの記憶—」(『ドイツ研究』第44号)

司会

益田勇一 (白鷗大学・教授)

「17世紀の表象システムと絵画」(白鷗大学教育学研究年報)、「ゲルノット・ペーメの知覚論における現前性の問題」(白鷗大学発達科学部論集)、「ポストモダニズムとしてのチュリヒ・タグ」(白鷗大学教育学部論集)、「身体と公共性」(2002・2004年度科学研究費補助金研究成果報告書)、「環境と身体」(2002・2004年度科学研究費補助金研究成果報告書)、「翻訳ゲルノット・ペーメ「感覚学としての美学」(共訳)勁草書房)、W.ヘンクマン/K.ロツター「美学のキーワード」(共訳)勁草書房)

コーディネーター

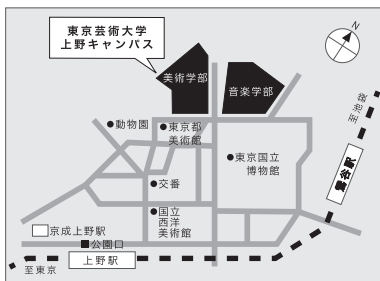
椎原伸博 (実践女子大学・教授)

「生活場所としての人工地盤(Böte)」西村清和編『生活環境の美学』(勁草書房)近刊予定)所収「公共空間におけるデザイン」小田山田編『デザインの新秩序と美学の交響』所収「オカニヤ出版」2007)、「新しい公共性」と芸術(シンポジウム報告「美学へ」の挑戦—アートプラクティスの現場と「公共性」—「カリスト」17号2011年)、「オペラとビデオアート—ビル・ヴィオラによるトリスタン—プロジェクトをめぐる」(『実践女子大学美術史学』23号、2009年)

## 【交通案内】

東京芸術大学  
上野キャンパス 中央棟第三講義室

- JR上野駅 鶯谷駅 下車徒歩10分
- 地下鉄
- 銀座線・日比谷線 上野駅 下車徒歩15分
- 千代田線 根津駅 下車 徒歩約10分
- 京成電鉄 京成上野駅 下車徒歩15分
- 都営バス 上26系統(亀戸↑上野公園) 谷中バス停 下車徒歩約3分
- 台東区循環バス
- 東西めぐり 東京芸術大学バス停 下車すぐ



## 【お問い合わせ】

美学・芸術論研究会 事務局

東京芸術大学  
美術学部芸術学科  
美学研究室内

東京都台東区上野公園12-18  
050-5525-2250 (内 3820)